

第13回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	令和3年7月28日(水)			
開催時間	開 会	午後3時00分	閉 会	午後4時15分
開催場所	伊那市役所 5階 501・502会議室			
委員出席者	伊那市区長会 南箕輪村区長会 伊那市社会福祉協議会 伊那商工会議所 箕輪町商工会 南箕輪村商工会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合 伊那バス(株) ジェイアールバス関東(株)中央道支店 (有)白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会南信支部 伊那市観光協会 NPO 法人子ども・若者サポートはみんぐ 伊那市保育園保護者連合会 上伊那PTA連合会 信州大学	小澤 登志男 加藤 純治 矢澤 秀樹 小林 旬子 白鳥 公夫 小松 豊 辰ノ口 忠央 原 武志 福澤 信義 太田 治彦 白川 光朗 大村 裕一 伊藤 隆博 戸枝 智子 田中 崇司 石原 幹彦 鈴木 純		
欠席者	箕輪町区長会 伊那中央行政組合 公募	松田 篤 宮原 文彰 竹口 実咲		
委員以外の出席者	上伊那地域振興局企画振興課長	下條 伸彦		
出席した事務局職員	伊那市企画部長 伊那市企画部地域創造課長 箕輪町企画振興課長 南箕輪村地域づくり推進課長 伊那市商工振興部産業立地推進課長 伊那市保健福祉部子育て支援課長 伊那市企画部企画政策課長 伊那市総務部秘書広報課長 伊那市総務部総務課長 伊那市福祉部福祉相談課相談支援係長 伊那市企画部地域創造課人口増推進係長 伊那市企画部地域創造課人口増推進係 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長 南箕輪村地域づくり推進課企画係長	飯島 智 白鳥 英一 毛利 岳夫 高橋 里江 平澤 浩 北原 静香 三澤 豊 泉澤 正広 福澤 清 木ノ嶋 志津子 田中 久 田尻 勇木 小野 文久 平澤 祥二		

議 事	(1) 第1期共生ビジョンの実施報告について (2) 令和3年度共生ビジョンの実施計画について (3) その他
配布資料	資料1-1 令和2年度 空き家バンク利用実績 資料1-2 令和2年度 産業振興事業進捗状況 資料1-3-① 令和2年度 福祉部会の状況について 資料1-3-② 令和2年度「病児・病後児保育施設」「子育て支援センター」利用実績 資料1-4-① 令和2年度 地域公共交通部会の状況について 資料1-4-② 令和2年度 地域公共交通利用実績 資料1-5 令和2年度 情報インフラ部会の状況について 資料1-6 令和2年度 合同研修実績 資料1-7 第1期伊那地域定住自立圏共生ビジョン 実績報告一覧 資料2 第2期伊那地域定住自立圏共生ビジョン 令和3年度実施計画

1 開会

2 会長あいさつ

定住自立圏共生ビジョン協議会は今年度初めての開催となる。

本日は、昨年度で終了となった第1期共生ビジョンの実績や成果など、業績評価についての報告を予定している。また、今年度より新たに第2次共生ビジョンがスタートしたので令和3年度実施計画について協議いただくことを予定している。

3市町村の住民の皆さんが住みやすい地域となるよう活発な議論お願いするとともに、円滑な議事の進行にご協力をお願いしたい。

3 会議事項（進行：小澤会長）

(1) 第1期共生ビジョンの実施報告について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： (資料1-1～資料1-7により説明)

会 長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

委 員： 空き家バンク制度について、3市町村の空き家率や空き家バンク制度に対する登録率などの分析はあるか。また、空き家バンク成約によって定住する方の世代、この事業の趣旨である圏域外からの移住者の数値についてお聞きしたい。

事務局： 空き家率は、国の空き家対策総合支援事業で各自治体の数字を把握されていると考える。空き家バンクは居住できる物件を対象としているため現状の比率は掴んでいないが、今後把握していきたい。空き家バンクを利用されている方の中で移住されている方もいらっしゃるが、移住されていきなり不動産を取得するのはハードルが高いと考える方が多いのが現状。まずは賃貸など、移住者のニーズを掴んで今後事業を展開していきたい。

委 員： 産業立地数の定義はどのようなものか。隣の敷地に工場等を増設した場合も含まれるのか、設備投資なのか。南箕輪村が2年連続で0件であるが現状はどうか。

事務局： 産業立地数は、新規用地を取得され工場等を建てられたもの、空き工場や空き用地を取得・借用して新たに操業されたものが対象となる。隣の敷地に増設した場合は設備投資となる。

事務局： 南箕輪村は、用地の確保が困難な状況であり、また業者からの要望もないため令和元年度・令和2年度共に事業実績が0件である。

委員： ぐるっとタクシーの利用登録者数に対して、実際の利用者は重複が多いと考える。延べ人数ではなく、実際に利用している人の数を把握すべきだと考えるがいかがか。

事務局： 今後、そのような分析も含め検討していく。

委員： 職員の合同研修について、内容が定住自立圏で実施するものとリンクしているのか疑問がある。研修内容等、同じ自治体内部へのフィードバックまで考えられているものか。また、研修内容を計画的に広げていくことはあるか。

事務局： 研修内容は、3市町村共通課題に対して検討を行い、内容や対象者を決定している。事業のフィードバックについても十分実施しているが、効果検証を引き続き行う。また、研修自体は、これまでに実施してきた内容を参考・踏襲しつつも職員の資質向上を目指し、今後も引き続き計画していく。

委員： 予算化され、職員研修という機会を十分活かし、一部に留めず全体に広げるような方策をとっていただきたい。

委員： 目標値はどのように設定したのか。目標に達していない事業が目立つが。

事務局： それぞれの各部会を統括している3市町村合同の幹事会というものがある。先ほど報告した KPI の達成状況も各部会からの数字であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものを度外視したものなど、実績にバラつきが生じている。このあたりの平準化を見直す必要があると考えるため、次回までの反省点として対応していきたい。また、今年度から新たな共生ビジョンが始まったこともあり、今後新たな事業が加わってくると考える。その目標設定は、出来るだけ何をやるかというアウトプット型から、それによってどういった効果があったのかというアウトカム型にしていきたいと考える。全体のバランスを考えながら、柔軟に対応したい。

(2) 令和3年度共生ビジョンの実施計画について

会長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： (資料2により説明)

会長： 説明内容について、御意見、御質問等はあるか。

委員： ぐるっとタクシーだが、伊那市だけでなく箕輪町・南箕輪村へ展開していくと報道されたが、その事業は定住自立圏の事業として実施されるのか。

事務局： 今年度、南箕輪村の一部にぐるっとタクシーを運行するが、そちらの費用は定住自立圏の事業費としては盛り込んでいない。

事務局： 箕輪町は11月から試行予定。今年度は5か月間だが実証実験を行い今後検討する。この事業も定住自立圏の事業費としては盛り込んでいない。

委員： ぐるっとタクシーは利便性や交通弱者に対し良い政策かと考える。地域公共交通の住み分けなど課題はあるかもしれないが、生活に困っている方への行政サービスとしてどう支援していくかということに繋がる。3市町村が単独で行うのではなく、定住自立圏の事業として取り組むことで成果の達成に繋がると考えるので検討して欲しい。

委員： 目標値について、事業により指標基準が違うというから見直しを図るという事務局の回答があったが、それぞれの政策の中で事業の目的として圏域内の生活向上に繋がることが大きな目標と考える。計画を立てたからと言ってそのまま進めるのではなく、随時見直しを図り、質を高めていってほしい。

事務局： この協議会では、目標など含め協議いただく場であるため、いただいたご意見を計画等に反映していきたい。

委員： 在宅医療・介護連携推進事業について、KPIが「介護保険事業所に占める登録事業の割合」でR7年度に50%達成と、極めて高い数値目標となっているが、医療介護連携であるため、ドクター側の目標数値というものは設定できないか。

事務局： 部会の中でも医療機関のKPIについて協議を行っている。3市町村それぞれの医師会が異なるため、それぞれの医師会に事業概要の説明を行いながらご協力いただけるよう進めていきたいが、第2期共生ビジョン初年度から医療機関に関するKPIを載せることが困難であるため、このような目標設定となっている。医療機関にも説明を行い、ご協力いただきながら事業を進めていきたい。

(3) その他

特になし

4 事例紹介（伊那地域空き家バンク）

事務局より説明

5 その他

アドバイザー： 伊那地域定住自立圏第2期共生ビジョンが始まったとのことで、今年度はまだコロナの状況を見ながらの取組みとなるかと思う。委員の皆様からのご議論のとおり5年間統一したものではなく、絶えず見直しを図りながら必要な生活基盤の確保のために事業を進めていただきたい。今日の議題にはないが、国の方で定住自立圏構想推進要綱の改正が行われ、定住自立圏形成協定に盛り込む政策分野が増えた。具体的には生活基盤の中に、環境・防災が加わった。今後、定住自立圏事業に組み込むことで必要な財政措置が受けられるので、参考にしていきたい。

6 閉会